

ちば県議会だより

会派別議員数		
会派名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	53人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	10人
千葉民主の会	千葉民	9人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
千翔会	千翔会	2人
平和の党	平和党	1人
社民党	社民党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
北総ダッシュの会	北総ダ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	4人

定数94人 現員94人 (令和元年12月20日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索



12月定例会県議会の

あらまし

12月定例会県議会は、11月27日に招集され、12月20日までの24日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和元年度一般会計補正予算等の議案27件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明と台風15号等に係る災害復旧・復興に関する指針の策定等、県政の当面する諸問題について報告がありました。

12月3日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、24名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、12月12日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、平成30年度決算は認定されました。続いて、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件14件が同意され、続いて、議員発議案20件のうち7件(条例3件、意見書4件)を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

12月3日(火)



自民党 じつかわ たかし 議員 實川 隆 (山武市・山武郡)

- 知事の政治姿勢
- 台風15号・19号及び10月25日の大雨被害からの復旧・復興
- 私学助成
- 児童虐待防止対策
- 医療費助成
- CSF対策



立憲民 たかはし ひろし 議員 高橋 浩 (木更津市)

- 台風15号・19号及び大雨への対応
- がんセンター新棟建てかえ
- アクアライン通行料金800円の恒久化
- アクアライン高速バス網
- ちばアクアラインマラソン
- 少子化対策としての給食費無償化

12月4日(水)



千葉民 まつど たかまさ 議員 松戸 隆政 (松戸市)

- 台風・豪雨被害への県の対応
- 河川の氾濫・堤防決壊への対策
- 水道等インフラの防災力強化
- 災害廃棄物の広域処理
- 幼児教育・保育の環境整備
- 児童虐待問題



公明党 あべ としあき 議員 阿部 俊昭 (柏市)

- 台風15号・19号及び大雨関連の対応と提案
- 私立高校の就学支援
- 消費者被害の防止
- 高齢者の健康支援対策
- 情報(映像)バリアフリー
- ネットゲーム依存対策

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。 千葉県議会 質問項目 12月 検索

予算委員会の設置

12月定例会県議会において、県の新年度予算および関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

会派名	委員名	
自民党	◎ 鈴木 衛	○ 中 沢 裕 隆
	○ 小池 正 昭	武 田 正 光
	林 幹 人	山 本 呂 一 剛
	村 実 太	茂 川 名 康 介
	伊豆倉 雄 光	川 高 橋 秀 典
立 憲 民	鈴木 ひろ子	佐 藤 健 二 郎
	矢崎 堅 太 郎	大 川 忠 夫
千 葉 民 党	松戸 隆 政	野 田 剛 彦
	藤井 弘 之	仲 村 秀 明
公 明 党	み 由 美	
	谷田川 充 丈	
千 翔 会	西尾 憲一(平和党)	小宮 清子(社民党)
	プリティ長嶋(県民声)	伊藤 とし子(市民ネ)
	岩波 初美(北総夕)	秋 葉 就 一(リベ民)
	坂下 しげき(無所属)	川 井 友 則(無所属)
	田沼 隆志(無所属)	市 原 淳(無所属)

◎委員長 ○副委員長 (令和元年12月20日現在)

可決・同意された議案・発議案

- ◆令和元年度補正予算関係(7件)
 - ▽一般会計
 - ▽特別会計(6件)
 - ◆条例の制定(2件)
 - ▽無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例
 - ▽千葉県流域下水道事業の設置等に関する条例
 - ◆条例の一部改正(9件)
 - ▽政治倫理の確立のための千葉県知事の資産等の公開に関する条例
 - ▽職員の給与に関する条例等
 - ▽千葉県県税条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
 - ▽使用料及び手数料条例
 - ▽千葉県情報公開条例
 - ▽児童福祉施設設備及び運営に関する基準を定める条例及び幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例
 - ▽千葉県心身障害者扶養年金条例
 - ▽千葉県県営住宅設置管理条例
 - ◆条例の廃止
 - ▽千葉県卸売市場条例
 - ◆その他(22件)
 - ▽契約の締結(2件)
 - ◆議員提出
 - ◆条例の一部改正(3件)
 - ▽政治倫理の確立のための千葉県議会議員の資産等の公開に関する条例
 - ▽千葉県政務活動費の交付等に関する条例
 - ▽千葉県議会情報公開条例
 - ◆可決された意見書
 - ▽新たな過疎対策法の制定を求める意見書
 - ▽「あり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書
 - ▽スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書
 - ▽CSFの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書
 - ◆契約の変更(2件)
 - ▽首都高速道路株式会社が行う高速道路事業の変更
 - ▽当せん金付証券の発売
 - ▽指定管理者の指定(2件)
 - ▽教育委員会委員の任命同意(2件)
 - ▽公安委員会委員の任命同意(6件)
 - ▽収用委員会委員の任命同意(5件)
 - ▽土地利用審査会委員の任命同意

代表質問から

災害からの復旧・復興

問 甚大な台風等の被害を踏まえ、令和元年度12月補正予算は、どのような点を重視して編成したのか。また、財源をどのように確保したのか。

答 被災した人々が、一日も早く元の生活に戻り、安心して暮らしてほしい、そして、「千葉に住んでよかった」「農業や経営を諦めずに続けてよかった」と、感じてもらわなければならないと強く決意し、今回の補正予算を編成した。

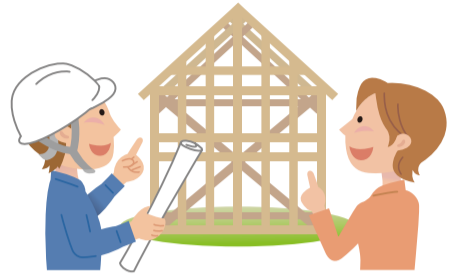
このため、住家の一部損壊や、農業用ハウス等の再建、中小企業の再開などの支援については、被災者や市町村の負担軽減を念頭に、補助対象の拡充や補助率のかさ上げなど、通常よりも踏み込んだ予算措置を行うこととした。

また、財源については、主に国庫補助金のほか、災害時の備えとしてこれまで積み立ててきた災害復興・地域再生基金をほぼ使い切ることでなんとか確保したが、今後、国に対し、特別交付税措置等についても、要望していきたいと考えている。

問 今後、復旧・復興に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 県では、このたびの災害からの復旧・復興を総合的かつ計画的に推進するため、10月21日に復旧・復興本部を設置した。

また、11月13日には、県が取り組む各種復旧・復興支援策の全体像を県民に示すものとして、災害復旧・復興指針を策定した。



この指針を基に支援策の充実と進捗管理を行うことで、一日も早い被災者の生活再建、産業の再生と本県のさらなる地域振興に向けた取り組みを推進するとともに、市町村による復旧・復興に向けた取り組みを支援していく。

問 一連の災害で発生した災害廃棄物の広域処理について、県はどのような取り組みを進めているのか。

答 大規模災害が発生し、個々の市町村では災害廃棄物の処理が困難な場合には、県内市町村間の協定により、被災市町村から他の市町村への応援要請ができることとなっている。

今回の一連の災害において、県では、同協定等に基づく広域処理が円滑に進むよう、処理の受け入れが可能な市町村名や受け入れ条件などを被災市町村に情報提供し、その結果、南房総地域や長生地域の災害廃棄物の処理が葛南地域等で進められている。

また、県として、千葉県産業資源循環協会との協定に基づき、同協会に協力を要請し、県内の産業廃棄物処理業者を活用した広域的な処理体制を構築したところ

であり、路上に堆積された廃棄物の撤去や、瓦やがれき等の災害廃棄物の処理の迅速化が図られている。

問 中小企業・小規模事業者の再建に向けて、県はどのように支援していくのか。

答 県では、今回の一連の台風および大雨で被害を受けた中小企業に対し、発災直後から、相談窓口の設置や、セーフティネット資金による低利融資等を行っているが、今後の復旧や再建を加速化するためには、支援をさらに充実させていく必要があると考える。

このため、被災中小企業の事業活動の再開に必要な費用に対し、補助率4分の3、上限額を1千万円とする補助や、商店街施設等の復旧費用に対しても、補助率3分の2、上限額を500万円とする補助を行うこととし、両事業について、12月補正予算案に計上した。

県としては、引き続き、国や市町村、商工団体等と連携し、被災中小企業の一日も早い再建に向けて、取り組んでいく。

問 土砂災害警戒区域の指定を、今後、どのように進めていくのか。

答 土砂災害警戒区域等の指定に際しては、これまで、住民および土地や建物所有者の十分な理解が重要と考え、指定への同意を得ることを基本方針とし、住民説明会の開催や、アンケート調査に個別に回答するなど、丁寧な説明を行ってきたことから、指定手続きに時間を要していた。

今回、尊い人命が失われたことを重く受けとめ、「人命第一」の考えに基づき、指定に向けた手続きについては、他県の事例を参考に、法制度の趣旨や土砂災害の危険性の周知に重点を置くことに

改め、次期出水期前の令和2年5月末までに指定率50%、その1年後までに指定完了を目指していく。

なお、土砂災害警戒区域の指定には一定の時間がかかることから、まずは、指定に必要な基礎調査を今年度中に完了させ、併せて、避難勧告等が指定予定箇所の住民に確実に伝わるよう、市町村と協力して取り組んでいく。

児童虐待防止対策

問 今回の検証結果を受け、今後児童虐待防止対策にどのように取り組んでいくのか。

答 今後、二度と死亡事件が起きないように、まずは、すべての児童相談所職員が検証報告書の内容を理解し、自身の日々のケースワークで活用・実践するよう指導していく。

また、「子ども虐待対応マニュアル」を速やかに改正し、児童虐待に適切に対応する。

さらに、児童相談所の組織の見直しやケースマネジメントの強化

専門職の増員や研修の充実などにより、児童相談所の機能の一層の拡充を図っていく。

今回検証委員からもらった提言や「千葉県子どもを虐待から守る条例」の改正および附帯決議された事項について、今年度策定する次期「子どもを虐待から守る基本計画」に盛り込み、着実に実行し、事案の再発防止に全力で取り組んでいく。

問 重度心身障害者児医療給付改善事業について、精神障害者への対象の拡大に向けた進捗状況はどうか。

答 県では、本年2月の県議会において、精神障害者を本制度の対象とする方針を表明し、これまでに、対象とする障害の程度や医療の範囲など、制度の具体的な内容や実施の時期について、関係機関から意見を聞きながら市町村との協議を重ねてきた。

その結果、精神障害者保健福祉手帳1級の人を対象とすること、診療科を問わず入院・通院を対象とすることで、おおむね市町村の合意が得られた。

今後は、制度の実施主体である市町村が、来年度中に対象者の拡大を実施できるよう、市町村への説明や医療機関・県民への周知などの準備を進めていく。



CSF対策

問 野生イノシシ侵入防止対策のさらなる強化を図るべきと思うがどうか。

答 今般のCSF(豚コレラ)の拡大は、野生イノシシを介しての感染が大きな要因の一つとされていることから、養豚場の豚への感染リスクを低減するためには、野生イノシシの侵入防止対策を強化する必要がある。

このため、国では、野生イノシシの養豚場への侵入を防止するた



わなで捕獲したイノシシ

めの柵の設置に要する経費に対する助成を行っており、県としても生産者の負担をさらに軽減するため、国の補助に上乘せすることとし、そのための補正予算を計上した。

また、県外から入ってくる野生イノシシによる感染の拡大を防止するため、県境近くに位置し、かつ養豚場が存在する銚子市、旭市、成田市、印西市、香取市、東庄町を重点エリアに設定し、県による捕獲を開始し、市町村と連携して捕獲の強化を図っていく。

ネットゲーム

問 依存症予防対策として、教職員への対応力向上が必要と考えるがどうか。

答 予防対策としては、まずネットゲームやSNSの使い過ぎを防ぐことが重要であり、これまで各学校において決められた利用時間を守る態度を育むことなどを、道徳や特別活動を通じ指導してきた。

また、近年、ゲーム等がやめられない依存症が社会問題となっており、本年3月、国が作成した指導資料において、「ゲーム障害」が疾病に該当すること、家庭・専門医療機関と連携しつつ原因とな

がんセンター

るストレスに適切に対応することなどが示されている。

県教育委員会では、これまでスクールカウンセラーに対しネット依存について研修を行ってきたが、今後、新たに、教員を対象とする研修会に専門医療機関から講師を招き、依存症の早期発見・早期対応に関する講義を受けるなど、対応力の向上を図っていく。



がんセンター新棟完成予定図

問 がんセンターの新棟建て替えについては、工期が3カ月延長されることだが、診療や建設費への影響はどうか。

答 建築現場から発見されたコンクリート塊等の埋設物処理のため、工期内の完成が困難となり、工期を約3カ月延長することとした。

このため、新棟のオープンは、令和2年秋ごろになる予定であり、それまでの間は、引き続き、既存の施設および設備により、診療を行うこととなる。

また、工期の延長に伴い工事監理費や現場事務所の維持経費等として、1億5千万円程度の増額を見込んでいる。

新しいがんセンターがその機能を十分発揮できるよう、着実に整備を進めていく。





総務防災常任委員会

問 来年以降、規模の大きな台風による被害を最小限に抑えるため、具体的にどのような予防策を考えているのか。

答 県庁全体で危機意識を共有し、市町村への情報連絡員の迅速な派遣、県・市町村の保有備蓄物資の情報共有、倒木除去に係る協定の締結などに取り組んでいく。

総合企画企業常任委員会

問 台風15号等の対応を踏まえ、災害対策の強化に取り組むため、県営水道給水区域11市とは、どのような検討をするのか。

答 各市とのさらなる連携の強化に向け、当時の状況等を共有し、意見を聞きながら、応急給水や情報共有の方法など、より良い体制の構築を検討する。

健康福祉常任委員会

問 千葉県子どもを虐待から守る基本計画の見直しについて、具体的にどのような計画にするのか。

答 新たな基本計画は、本県における児童虐待防止対策を体系的にまとめた、基本的かつ総合的な計画とする予定であり、児童虐待の防止、児童相談所の強化、社会

的養護が必要な子どもに対する家庭的養育の推進に向けた取り組みの3つを柱として、具体的な取り組みや数値目標等を盛り込んでいきたい。

環境生活警察常任委員会

問 台風15号等で損壊した家屋の撤去が、今後、市町村において本格化していくと思うが、どのような支援を行っていくのか。

答 台風15号および19号による損壊家屋の解体費用については、県からも国へ要望を行い、全壊に加え半壊家屋も国の補助対象となった。

問 県では、損壊家屋の撤去に係る事務処理がスムーズに進むよう過去の事例についての情報提供や説明会を行っており、引き続き市町村の進捗状況を確認し適切に支援していく。

商工労働常任委員会

問 台風被害を受けた本県において、宿泊料金を割り引くふっこう割の実施見込みはどうか。

答 国の補助金を活用したふっこう割については、年度内完了の事業となることから、議決後、速やかに事業が実施できるよう準備を進めている。

農林水産常任委員会

問 農業用ハウス等の復旧を支援する事業において、12月3日に発表された、国の新たな支援策の内容はどのようなものか。

また、その周知はどのように行っているのか。

答 借りている、または、貸している農業用ハウス等が、支援の対象として追加された。

また、新たな支援策などを記載したパンフレットを作成し、農協の広報誌に折り込むなどにより、周知に取り組んでいる。

県土整備常任委員会

問 流域下水道事業について、従来の特別会計から地方公営企業法の特別会計に移行することだが、具体的には何がかわるのか。

答 地方公営企業法に基づく特別会計は、複式簿記により取引が記録されることから、貸借対照表や、損益計算書等の財務諸表が作成され、現在の保有資産の価値や、企業債等の負債の状況など、事業全体の経営状況がより明確になる。

文教常任委員会

問 スクール・サポート・スタッフは、どのような学校に配置するのか。

答 災害発生後、休校を余儀なくされた学校では、スケジュールが過密になったり、補習授業等で教職員に大きな負担が掛かっている状況が生じた。これらを踏まえ、要望があった学校に配置していく。



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県 常任委員会 検索

県土整備常任委員会 調査日：令和元年12月12日(木) 調査先：高崎川、西印旛沼(佐倉市)

水防工法(月の輪工法)の調査

10月25日の大雨により被害が発生した西印旛沼の漏水の応急対策として、半月型に土のうを積み、そこに水をためることで水圧を弱め、漏水口が広がることを防ぐ水防工法(月の輪工法)について調査しました。



西印旛沼において水防工法(月の輪工法)の説明を受ける委員

文教常任委員会 調査日：令和元年12月13日(金) 調査先：県立中央図書館、新県立図書館等複合施設建設予定地(千葉市中央区)

新県立図書館の整備に向けて

県立中央図書館および県立青葉の森公園内の新県立図書館等複合施設建設予定地の現状について調査しました。



建設予定地の現状について説明を受ける委員

議会トピックス ~災害支援特集~

今回の質問の中から災害支援に関する話題をお届けします。

住宅編

問 被災者への住宅再建支援等について、県としてどのように取り組んでいくのか。

答 今回の災害では、約6万棟の住宅が一部損壊と認定されたことから、「もう一度立ち上がりよう」という被災者の気持ちを後押しするため、県では、国の交付金等の上限30万円に、県独自の上乗せを行い、被災者に対し最大で50万円の支援を行う新たな助成制度を創設することとした。

農業編

問 農業の復旧・復興に向けてどのように支援していくのか。

答 今般の台風等による被害は、県内の広域にわたって、かつて経験したことがないほどの甚大なものとなったことから、県では、一人でも多くの人が農業を継続できるように、これまで以上に手厚い支援を行うこととする。

水産業編

問 水産業の復旧・復興に向けてどのように支援していくのか。

答 水産業においても暴風雨や波浪により、県内各地で多くの施設や漁船、漁港が被災し、特に富津市から南房総市にかけて甚大な被害が発生した。

このため県では、漁協の漁具倉庫など共同利用施設の復旧について、国の事業に上乗せして支援を行うとともに、国の事業対象とならない漁協直営食堂や漁船などについても、県独自で支援することとしている。



また、漁港については、損壊した防波堤等の修繕に取り組んでいる。

県では、関係市町や関係団体と連携して漁業関係施設の一日も早い復旧を進め、漁業者が被災を乗り越えて、漁業活動を再開し、力強い産地づくりに取り組めるよう積極的に支援していく。

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 12月 検索

12月5日(木)



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

災害後の防災対応
沿岸地域における規格の高い新たな道路ネットワーク
新県立図書館等複合施設整備
救急安心電話相談の今後



自民党 鈴木 衛 議員 (市川市)

災害対策
(仮称)押切橋
都市計画道路3・4・13号二保高谷線
県立現代産業科学館



自民党 宍倉 登 議員 (千葉市花見川区)

防災
第二東京湾岸道路を核とした総合戦略
千葉みなと緑地整備事業
幕張新都心の公共交通



立憲民 菊岡 たづ子 議員 (市原市)

農業被害への支援
村田川・養老川等河川管理
高滝ダム等の管理
インクルーシブ防災



無所属 坂下 しげき 議員 (市川市)

県民生活を支える持続可能な財政構造の確立
命を守る政策
安心して快適な生活を支える政策
県民の命と生活を守る災害対策

12月6日(金)



公明党 横山 秀明 議員 (八千代市)

投票所入場券の性別表記
SNS相談
千葉県青少年健全育成条例の対策強化
歩行困難者等に対する信号機の整備



自民党 伊藤 昌弘 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

印旛沼と周辺の治水対策
避難所の非常時発電設備
新品種米「粒すけ」
道路問題



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

(仮称)三郷流山橋
県道松戸野田線流山市南以北の4車線化
つくばエクスプレス沿線の土地整理事業
児童相談所管轄区域変更とICT活用



千翔会 谷田川 充丈 議員 (香取市・香取郡神崎町・香取郡多古町)

防災・減災問題
医療問題
補助犬
教育問題



リベ民 秋葉 就一 議員 (八千代市)

防災(台風・大雨)対応を中心に
児童虐待防止対策の強化
東葉高速鉄道
県道の八千代西高校入口丁字路への右折レーン設置

12月9日(月)



自民党 伊藤 寛 議員 (習志野市)

習志野3河川の水位監視
県営水道の災害対策
避難所における環境改善
水防倉庫の備蓄資材



自民党 高橋 祐子 議員 (富里市)

今般の台風被害と防災体制
消防広域化
エネルギー政策・地球温暖化対策
サポカー補助



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

災害対策
児童相談所
県立学校での取り組み
大学入試改革への対応
外国人人材



千葉民 田中 信行 議員 (千葉市若葉区)

中小企業振興資金事業
債権管理
障害者対応



県民声 プリテイ長嶋 議員 (市川市)

台風15号等への対応
交通事故対策
違法薬物対策
児童虐待及びDV対策

12月10日(火)



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

台風15号・19号・21号の大規模災害対策
鉄道問題
教育問題
八街警察署問題



自民党 鶴岡 宏祥 議員 (茂原市)

千葉リハビリテーションセンター
農業問題
河川問題
道路問題



立憲民 大崎 雄介 議員 (船橋市)

児童相談所
県立学校での取り組み
大学入試改革への対応
外国人人材



自民党 森 岳 議員 (木更津市)

災害時の対応
医療問題
介護分野における人材不足
水産業の振興



自民党 瀧田 敏幸 議員 (印西市・印旛郡栄町)

財政状況
児童虐待
AED及び心肺蘇生法の普及促進
八ッ場ダム

千葉県議会 インターネット中継

インターネットで本会議、予算委員会の生中継および録画中継(過去3年分)をご覧いただけます。



千葉県議会中継 検索

令和2年2月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議予定時間
2月13日(木)	開会	午前10時~
19日(水)	質疑並びに一般質問	//
20日(木)	//	//
21日(金)	//	//
25日(火)	//	//
26日(水)	//	//
27日(木)	//	//
3月 2日(月)	予算委員会	午前10時30分~
3日(火)	//	//
4日(水)	//	//
5日(木)	常任委員会(健康福祉・文教)	午前10時~
6日(金)	// (総合企画企業・商工労働)	//
9日(月)	// (環境生活警察・県土整備)	//
10日(火)	// (総務防災・農林水産)	//
13日(金)	閉会	午後1時~

TV...チパレで生放送されます。
...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。
 ※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会でご協議されます。

12月定例県議会 知事あいさつ

議案の提案理由の説明に先立ちまして、まず、先般の相次ぐ台風と大雨により、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災した全ての皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

記録的な暴風雨となった台風15号および19号は、本県に広範囲で長期的な停電や断水、膨大な数の住宅の損壊、過去最大規模の農林水産業の損害など、これまでにない甚大な被害をもたらしました。

さらに、10月25日の大雨では、わずか半日で1か月分の猛烈な雨が降り、土砂崩れや河川の氾濫により、11名がお亡くなりになるとともに、大規模な床上・床下浸水や多数の帰宅困難者の発生など、再び大きな被害を受けました。

このような中、国からは、激甚災害の早期指定や被災者支援策の充実など迅速に対応していただいた他、全国の皆さまからも、ボランティア活動や義援金など、本県に多くの温かいご支援をいただきました。

この場をお借りして、心からの御礼を申し上げます。

県としては、本格的な復旧・復興の取り組みを総合的かつ計画的に推進するとともに、市町村の取り組みを支援するため、11月13日に、「千葉県災害復旧・復興に関する指針」を策定したところであり、今後は、この指針に基づき、被災した皆さまが、前を向いてがんばろう、という気持ちを持っていただけるよう、県議会の皆さまとも手を携えて、オール千葉で取り組んでまいります。

なお、このたびの一連の災害に係る県の対応については、私自身の行動も含め、十分ではなかった点、適切とは言えなかった点などもあったものと考えております。

これまで、庁内でプロジェクトチームを立ち上げ、課題等の洗い出しを行っているところですが、今月22日には、専門的見地からのご意見をいただくための、1回目の検証会議を開催しました。



会議においては、初期段階の情報収集や私自身の行動も含めた指揮体制の在り方、職員に対する配備指令の伝達が未実施であったことなどについて、問題があったのではないかと、というご意見をいただいたところです。

私としましては、ご批判を重く受け止め、深く反省しており、今回のことを教訓として、一層の精進をしなければならないと考えております。

今後、さらに検証を進めてまいります。ご指摘を受けた点などについては、次なる災害に備え、防災・減災対策にしっかりと反映してまいります。

◎令和元年度一般会計の主な補正予算案

今回の補正予算は、台風15号・19号および10月25日の大雨からの本格的な復旧・復興に向けた対策として、「一部損壊の住宅への支援など被災者の生活再建」、「農林漁業者や中小企業の事業再開に向けた支援」、「インフラや学校施設等の復旧」などに係る経費を計上しました。

その他、主な事業・提案された議案の概要についての説明や「児童虐待死亡事例等検証委員会の答申」についての報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索